

早稲田大学 スポーツ科学部
2020年度 入試問題の訂正内容

<スポーツ科学部 一般入試>

【国語】

●問題冊子8ページ：問十七 選択肢二

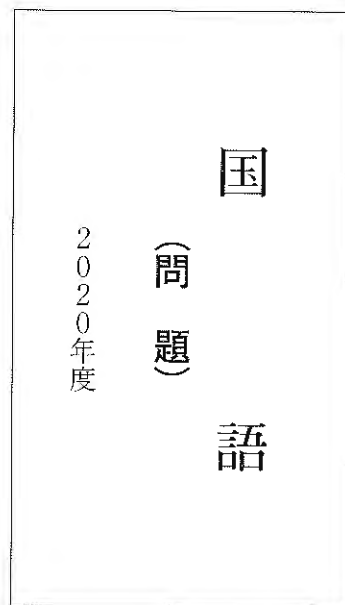
(誤)

かの小童

(正)

白河院

以上



〈2020 R02142020〉

注 意 事 項

- 1 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 2 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 3 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- 4 マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

- 5 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 6 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
- 7 いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

(一) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(吉見俊哉『平成時代』による)

(注1) 新自由主義：国家規制の緩和、公共サービスの縮小、国営企業の民営化、市場原理主義の重視を特徴とする経済思想。

(注2) ケインズ主義：戦後の先進資本主義諸国が取り入れた経済思想で、経済成長を促す方策において、政府による積極的な介入を重視する考え方。

問一 傍線部1「自らのかたちを変容させていった」とあるが、それはどのようなものへの「変容」と考えられるか。

最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 政府が主導する大規模な公共事業による急速な景気の回復
- ロ 自分を育んでくれた場所との絆を再確認できる緩やかな復興
- ハ 帝国を拡張させることから経済の成長を求める政策への転換
- ニ ポピュリズム政権下における膨大な公共資産の民間への移転

問二 傍線部2「ショック・ドクトリン」とあるが、この説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 国家の利益を追求するために、新自由主義者たちが、災害・惨事・不況を一定の頻度で必要としたこと。
- ロ 自民党を支持する新自由主義者たちが、災害・惨事・不況に便乗しつつ、政権を取り戻そうとすること。
- ハ 災害・惨事・不況が起きるたびに、それに便乗するかのよう市場が変動して、社会の格差が拡大すること。
- ニ 災害・惨事・不況などの現象が、まず政治経済的な変化をもたらし、結果的に文化社会的な変容につながること。

問三 傍線部3「こうした認識」とあるが、この説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 原理主義的資本主義は、常に大惨事を必要としてきたこと。
- ロ 冷戦崩壊後、より分散的な仕方では起る惨事は減らなかったこと。
- ハ ショックの数年後には、自民党のポピュリズム政権が誕生していること。
- ニ 平成の三〇年は、四つの「ショック」によって衰退の過程をたどったこと。

問四 傍線部4「その後の政治の変化」とあるが、そのような「変化」によって直接もたらされたものと考えられるものは何か。最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 少子高齢化
- ロ グローバル化
- ハ ネット社会化
- ニ 郵政民営化

問五 空欄 a に入る語句として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 国民国家
- ロ 独立国家
- ハ 先進国家
- ニ 近代国家

問六 傍線部5「平成」は「昭和」からの歴史の反転である」とあるが、「反転」としてあてはまらない本文中の事例を次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ モダンからポストモダンへの反転
- ロ リアルからヴァーチャルへの反転
- ハ 単中心的な歴史から断片化した歴史への反転
- ニ ネーションからトランスナショナルへの反転

問七 空欄 b に入る語句として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 呪縛
- ロ 未熟
- ハ 成長
- ニ 衰退

問八 傍線部6「元号」はフィクションにすぎない」とあるが、この説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 多くの国々が西暦を使っているなかで日本は歴史的に元号というシステムも併用しているということ。
- ロ その元号が絶対にそれでないといけないという根拠がないにもかかわらず使用しているということ。
- ハ 必ずしもその区切りでなくてもいいにもかかわらず、そこに時代的な意味を見出そうとしているということ。
- ニ 歴史的に必ずしも一世一元の制でなくてもいいにもかかわらず運用上そのような制度としているということ。

(二) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(宜野座菜央見『モダン・ライフと戦争』による)

(注1) 隣組：一九四〇年に町内会などの下に設けられた組織で、連帯して地域活動を担った。広い意味では隣保組織と言ひ、連帯して責任を負う。

問九 空欄

A

に入る語句として、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 国家の要請
- ロ 観客の関心
- ハ 理想の実現
- ニ 戦争の現実

問十 傍線部1「皮肉なタイミング」とあるが、どういう点が「皮肉」なのか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 軍拡に向かう日本の英米との対立を描き出した映画が公開されたときに、世界が軍拡とは反対の方向に向かっていたという点。

ロ 日本が占領地を統合した広大な帝国を実現しようとする目的で映画が制作されていたときに、それを見た実際の観客の評価が芳しくなかった点。

ハ 戦争初期の日本軍の優勢な戦いを材とした話題作が公開されたときに、実際には日本がきびしい戦局にたたされる段階になってしまっていた点。

ニ 戦争を素材とした日本映画がもつとも必要とされていたときに、連合国側の優勢によって物資不足から映画制作ができなくなった点。

問十一 傍線部 i ii のカタカナの部分と同じ漢字を含むものを次の中から一つずつ選び、解答欄にマークせよ。

- i コ舞 イ 円コ ロ コ郷 ハ コ笛 ニ コ称
- ii 憤ガイ イ 気ガイ ロ 感ガイ ハ ガイ旋 ニ 心ガイ

問十二 傍線部2「注目したいのはこの扱である」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ この人物に、戦時下の厳しい状況にかかわらず、自身の営んできた銭湯を何としても続けたいという個人の強いこだわりが描かれているため。

ロ この人物が、戦時下で通常の営業が難しくなっている様々な業種の人々の思いを代弁しているため。

ハ この人物は、主要な話の筋にも関係ないのに、舞台出身の演者によってはげしい口調と演技によって強い印象を与えるため。

ニ この人物が、戦時下の廃業せざるを得ない状況に対抗していることは、当時の政局批判にもなっているため。

問十三 傍線部3「会合の討議スタイルは注目に値する」とあるが、どこが注目に値するのか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 参加者の名譽が何よりも重視されている点。

ロ 参加者が会議になるといつも様子から急変する点。

ハ 参加者それぞれの言い分を等しく認めようとしている点。

ニ 参加者が戦争を支援するという目的で結びつけられている点。

問十四 空欄

B

に入る語句として、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 家族全体の保護

ロ 国民全体の威信

ハ 一人一人の体面

ニ 彼ら個人の尊厳

問十五 空欄

C

に入る語句として、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 観客を操作する

ロ 観客を喜ばす

ハ 観客を集める

ニ 観客を刺激する

問十六 本文では映画『日常の戦ひ』をどう論じているか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ この論は、映画『日常の戦ひ』にあらわれる個人の主張や人々による話し合いから、戦時下の人々が本来持っていた希望や願望をとらえようとしている。

ロ この論は、映画『日常の戦ひ』に、戦争で苦しむ個人への強い関心を見て取り、戦争を厭う人々の心情をその映画の背景にとらえようとしている。

ハ この論は、映画『日常の戦ひ』で描かれる個々の日常へのこだわりや、互いの個を大事にしようとする姿と、当時の切迫した戦況とのずれをとらえている。

ニ この論は、映画『日常の戦ひ』にあらわれる日常的な人間関係や生活の中の争いを、実際の戦地での戦いに結びつけたものとしてとらえている。

(三) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

肥後守盛重は周防の国の百姓の子なり。六条右大臣の御家人ながしとかや、かの国の日代にて、下りたりけるに、ついでありて、かの小童にてあるを見るに、魂有りげなりければ、よび取りて、いとほしみけるを、京に上りてのち、供に具して、大臣の御もとに参りたりけるに、南面に梅の木の大なるがあるを、「梅とらむ」とて、人の供の者どもあまたつぶてにて打ちけるを、主の「あやつ、とらへよ」と、御簾の内よりいひ出し給ひたりければ、蜘蛛の子を吹き散らすやうに、逃げにけり。

その中に童一人、木の本にやをら立ち隠れて、さし歩みて行きけるを、「優にも、さりげなく、もてなすかな」とおぼして、人を召して、「しかしかの物着たる小童、たが供の者ぞ」と尋ね給ひければ、主の思はむことをはばかりて、とみに申さざりけれど、しひて問ひ給ふに、力なくて、「それがしの童にこそ」と申しけり。すなはち、主を召して、「その童、参らせよ」と仰せられければ、参らせけり。

いとほしみて、使ひ給ふに、ねびまざるままに、心ばせ、思ひはかりぞ深く、わりなき者なりける。つねに前に召しつかひ給ふに、あるつとめて、手水持ちて参りたりける。仰せに、「かの車宿の棟に、鳥二つ居たるが、一つの鳥、頭の白きと見ゆるは、僻事か」と、なきことをつくりて、問ひ給ひけるに、つくづくとまぼりて、「しかさまに候ふ、と見給ふ」と申しければ、「いかにもうるせき者なり。世にあらむずる者なり」とて、白河院に進らせられけるとぞ。

(「十訓抄」による)

(注) 六条右大臣：源顯房。平安後期の公卿。 目代：国守の代官。 白河院：白河上皇。

問十七 傍線部1「いとほしみ」、2「もてなす」の主語は誰か。それぞれ最も適切なものを次の中から一つずつ選び、解答欄にマークせよ(同じ選択肢を繰り返し使っても良い)。

- イ 肥後守盛重
- ロ 六条右大臣
- ハ 御家人ながし
- ニ かの小童

問十八 傍線部①②「主」は、誰をさしているか。それぞれ最も適切なものを次の中から一つずつ選び、解答欄にマークせよ(同じ選択肢を繰り返し使っても良い)。

- イ 肥後守盛重
- ロ 六条右大臣
- ハ 御家人ながし
- ニ 白河院

問十九 傍線部abcdの「給ふ」のうち、ほかと意味の異なるものが一つある。それを選び、解答欄にマークせよ。

- 問二十 傍線部3「参らせけり」の説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。
- イ 梅を取った仲間達と逃げなかつた童をほめるために、右大臣に参らせた。
 - ロ 右大臣が童の落ち着いた振る舞いを気に入ったので、右大臣に献上した。
 - ハ 梅を取った童が右大臣にとがめられたので、お詫びのために右大臣に参上させた。
 - ニ 童の振る舞いを右大臣が不思議に思ったので、その理由を言上するために右大臣のもとに行かせた。

問二十一 傍線部4「いかにもうるせき者なり。世にあらむざる者なり」の意味として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 実に利口な者だ。世間で立派にやっつていく者になるだろう。
- ロ 本當に小うるさい者だ。世間でもそのように思われるだろう。
- ハ 誠に小賢しい者だ。世間慣れしているから生きていけるだろう。
- ニ いつも自分のやり方を貫く者だ。それで世間を生きていくだろう。

問二十二 本文の内容と合致するものとして、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 右大臣に仕えている御家人なにかは、目代の小童に目をとめて、身近に仕えさせて、可愛がった。
- ロ 右大臣は盛重を召し寄せて、自分に仕えさせたが、すぐに盛重の才能に気付き、白河院のもとに出仕させた。
- ハ 右大臣が、間違えて頭の白い鳥がいたと言ったのに対して、盛重は右大臣に追従して、その通りであると答えた。
- ニ 右大臣は頭の白い鳥がいたと、わざと嘘を言つて盛重を試すが、盛重はその意図を察して、動じずにその通りであると答えた。

問二十三 右の本文の波線部、「頭の白き」鳥は、秦の始皇帝に囚われた燕の太子丹が、頭の白い鳥などが現れたら赦すと言われたところ、実際に現れて、釈放されたという故事を踏まえる。さて、始皇帝を恨んだ太子丹は、刺客荆軻を送つて始皇帝を暗殺しようとするが失敗、やがて秦は燕を攻め滅ぼす。以下の本文は、燕滅亡後の高漸離（燕の人で、荆軻の友）について述べる、「史記」「刺客列伝」中の一節である。あとの問いに答えよ。なお、返り点、送り仮名などを省略した箇所がある。

於是、秦逐太子丹・荆軻之客、皆亡。高漸離變名姓、為庸保、匿作於宋子。久之、作苦。聞其家堂上客擊筑、傍徨不能去。每出言曰：「彼有善、有不善。從者以告其主曰：『彼庸乃知音、竊言是非。』」家丈人召使前擊筑。一坐稱善。賜酒。中略：客無不流涕而去者。宋子傳客之。聞於秦始皇。秦始皇召見。人有識者、乃曰：「高漸離也。」秦皇帝惜其善擊筑、重赦之。使擊筑、未嘗稱善。稍益近之。高漸離乃以鉛置筑中、復進得近、擊筑。朴秦皇帝、不於是、遂誅高漸離、終身不復近諸侯之人。

(注) 庸保：下男。宋子：地域の名。筑：琴に似た楽器。高漸離は筑の名手である。

丈人：長老。秦始皇：秦の始皇帝。

(1) 傍線部1「彼有善、有不善」の意味として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 善人とそうでない人とは紙一重である。
- ロ 彼は善の人であるが、不善の行いもある。
- ハ 善をなす人も、不善をなす人も両方いる。
- ニ あそこは良いが、ここは良くない。

(2) 傍線部2「客無不流涕而去者」をすべてひらがなで訓読した場合、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ かくなみだをながしてしかるにさるものなし
- ロ かくなくしてなみだをながしてさらざるなり
- ハ かくなみだをながさずしてさるものなし
- ニ かくむふりゆうにしてなみだしてさるものなり

(3) 空欄 3 に入る語として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 不 ロ 有 ハ 者 ニ 身

(4) この文章の内容と合致するものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 始皇帝は召し出した人が高漸離であることを見て取ったが、高漸離の筑の才能を認めて特別に許した。
- ロ 高漸離は始皇帝を暗殺するために、鉛を筑の中に入れていたが、それを始皇帝に見えさせてしまった。
- ハ 始皇帝は高漸離に裏切られた経験から、死ぬまで二度と諸侯の配下であった者を自分に近づけなかった。
- ニ 高漸離は名前を隠して下男として暮らすことに疲れ、筑の才能で立身しようと考え、人々の前で演奏した。

〔以下 余白〕